

OYSTER PERPETUAL
SKY-DWELLER



ROLEX

はじめてご使用になる際は

ロレックスをはじめてご使用になる際や、時計が止まった時には正確に動くようにゼンマイを巻く必要があります。

ゼンマイを巻くには、リューズを反時計回りに回し、ゆるめた状態で、リューズを時計回りに回します。

（逆に回してもゼンマイは巻かれません）

十分にゼンマイが巻きあがるよう、少なくとも25回転以上リューズを回してください。着用中は手首の動きによってゼンマイが自動的に巻かれます。

防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んで元に戻してください。



お買い求めのロレックスについているグリーンの
タグは、高精度クロノメーターであることを意味します。
この独自の称号は、ムーブメントが COSC（スイス
公認クロノメーター検査協会）による公式認定
を受けており、さらにロレックスが自社内で行う
一連の最終検査を通過したことを証明しています。
クロノメーター精度及び、防水性能、自動巻、信頼性
を独自に検査することにより、ロレックスは機械式
腕時計の卓越性において新たな基準を打ち立てて
います。さらなる詳細は、[rolex.com](https://www.rolex.com)をご覧ください。



スカイドゥエラー

オイスター パーベチュアル スカイドゥエラー	4-5
デュアルタイムゾーンと24時間表示	6-7
サロス年次カレンダー	8-9
リングコマンドシステム	10-11

操作方法

各部の名称	12-13
操作方法	14-23
イージーリンク	24-25
ロレックス グライドロック エクステンションシステム	26-27

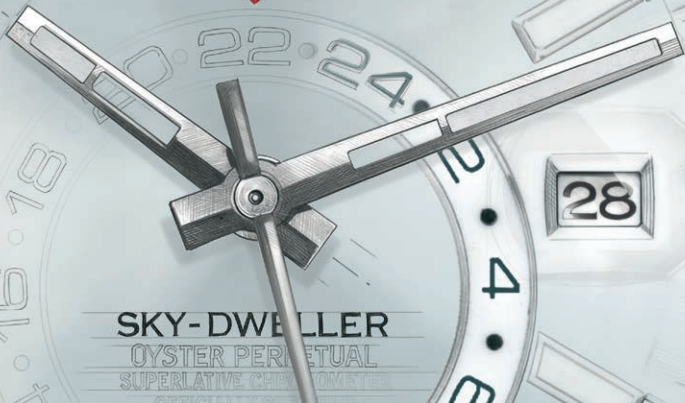
ロレックス アフターサービス

お手入れ方法	28-29
アフターサービス	30-31
ワールドワイドサービス	32

ROLEX.COM



ROLEX



SKY-DWELLER

OYSTER PERPETUAL
SUPERLATIVE CHRONOMETER
OFFICIALLY CERTIFIED

オイスター パーペチュアル スカイドウエラー

オイスター パーペチュアル スカイドウエラーは頻繁に旅行する人が容易に時刻を読み取るために必要な情報を極めて独創的な方法で提供します。デュアルタイムゾーン表示とサロスと名付けられた革新的な年次カレンダーを備えたこの時計は回転ベゼル、リュースとムーブメントの革新的な接続機構であるリングコマンドシステムを用いて設定します。

42mmのオイスターケースは、水深100m（330フィート）までの防水性能が保証されており堅牢性とエレガンスの象徴となっています。また、ロレックスの完全自社製造による機械式自動巻ムーブメントを搭載しています。

オイスター パーペチュアル スカイドウエラーにはイーजीリンク付きのオイスターもしくはジュビリーブレスレット、または、ロレックス グライドロックエクステンション システムを搭載したオイスターフレックスブレスレットが採用されています。ブレスレットは3種ともオイスタークラスプを備えています。

デュアルタイムゾーンと24時間表示



オイスター パーペチュアル スカイドウェラーは旅行者が2つの異なるタイムゾーンの時刻を同時に読み取ることを可能にしました。

旅行中、ホームタイム(基準時刻)は回転式のオフ・センターディスクにより24時間表示で読み取ることができます。ダイヤル上の赤い逆三角形が時間を示します。

ローカルタイム（現地時刻）はセンターの時針と分針、秒針が示します。単独操作可能な時針により分針や秒針、またはホームタイムに影響を与えることなく、素早くかつ容易に時刻を合わせることができます。

瞬時に変わる日付はローカルタイムと連動して変わります。つまり、日付表示部には常に着用している人のローカルタイムにおける日付が表示されます。

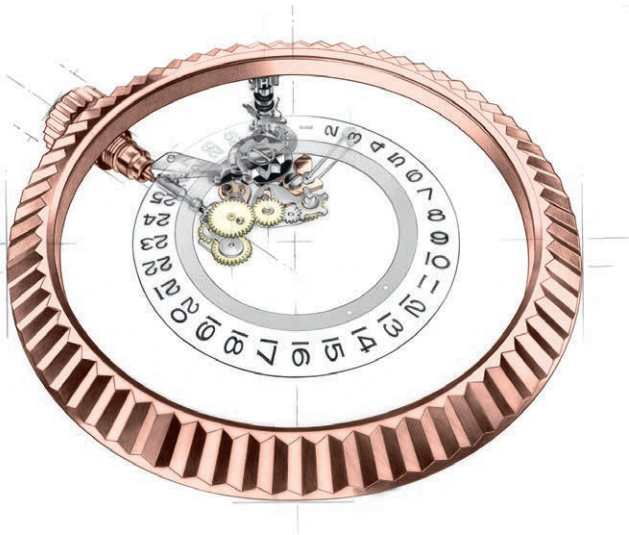
サロス年次カレンダー

オイスター パーペチュアル スカイドゥエラーにはサロスと名付けられた独創的なメカニズムによる高い信頼性を誇る年次カレンダーが備えられています。ロレックスが特許を取得したこの独自のメカニズムは、同名の天文現象からインスピレーションを得て設計されました。

この年次カレンダーは月間 30 日と 31 日の月を自動的に区別します。年間を通して正しい日付を表示し、修正は年に一度、3月1日にのみ必要です。
(2月は28日または29日までしかないため)

現在の月は、ダイアル外周にある12個の小窓に赤色で表示されます。(1月は1時位置、2月は2時位置など)





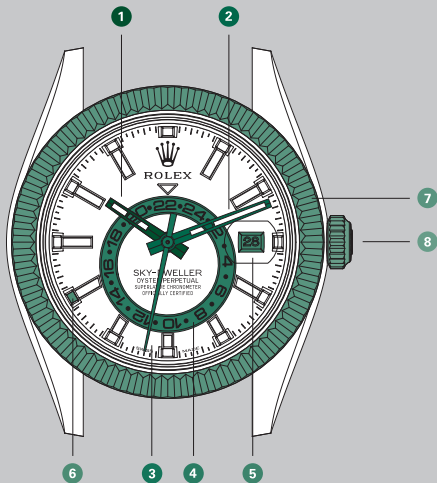
リングコマンドシステム

リングコマンドシステムは、ロレックスが開発し特許を取得したケースとムーブメントの接続機構で回転ベゼルとリューズで特定の機能を簡単に選択、設定できます。

オイスター パーペチュアル スカイドゥエラーでは日付、月、ローカルタイム、ホームタイムのいずれか設定したい機能を簡単に選択することができます。

各部の名称

- ① 時針
- ② 分針
- ③ 秒針
- ④ ホームタイム表示(24時間表示ディスク)
- ⑤ 日付表示
- ⑥ 12個の小窓による月表示
(1月は1時位置、2月は2時位置など)
- ⑦ 双方向回転ベゼル
- ⑧ トウインロックリユーズ(二重密閉構造)



操作方法

リューズ位置 0

リューズが十分にねじ込まれている状態です。
リューズがこの位置にあるときに、オイスター
パーベチュアル スカイドゥエラーは水深100m
(330フィート)までの防水性能を保証します。

リューズ位置 1 – ゼンマイを巻く

リューズをゆるめます。ゼンマイを巻くには、リューズを
時計回りに回します。逆に回しても、ゼンマイを巻く
ことはできません。はじめてご使用になる際や時計が
止まった時には、少なくとも25回転以上リューズを
回し、ゼンマイを巻きあげてください。



防水性を確実にするため、リユース操作後は、必ず十分にリユースをねじ込んでください。リユースをケースにねじ込むには、1の位置 までリユースを戻してください。その後リユースをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリユースの操作は絶対にしないでください。

時計の設定は以下の手順で行ってください。

1. ホームタイムの設定 (ベゼル位置Ⅲ、リュース位置2)

ホームタイムの設定は以下の手順で行います。

- リュースをゆるめ、1段階引き出します。
- ベゼルのベゼル位置Ⅲまで反時計回りに回転させます。この位置では秒針が止まっているので正確な時刻合わせが可能です。

- リュースをいずれかの方向に回し、24時間ディスク上で時間を、センターの分針で分を合わせます。

ホームタイム(時間は24時間ディスクで、分はセンターの分針で表示)をセットすると、時計(ローカルタイム)も動きます。そのため、ホームタイムは必ずローカルタイムを設定する前にセットしてください。

ステップ2へ続く ➡



防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。リューズをケースにねじ込むには、1の位置 までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズの操作は絶対にしないでください。

2. ローカルタイムの設定 (ベゼル位置Ⅱ、リュース位置2)

ローカルタイムの設定は以下の手順で行います。

- ベゼルをベゼル位置Ⅱへ回転させます。
- リュースをいずれかの方向に回し、ローカルタイム（時計で表示）を設定します。この時、24時間ディスプレイと分針は動きません。時計のみが1時間ごとに進みます。時計回りに回した際にのみ深夜12時になると、日付が変わります。

午前と午後を正しく設定するために、一度、時計を12時まで進めてください。日付が変わった場合は深夜12時を示しています。

ステップ3へ続く ➡



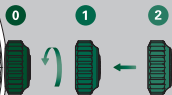
防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分に
リューズをねじ込んでください。リューズをケースに
ねじ込むには、1の位置 までリューズを戻してください。
その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに
最後までねじ込んでください。水中でのリューズの
操作は絶対にしないでください。

3. 月と日付の設定

(ベゼル位置1、リューズ位置2)

月と日付の設定は以下の手順で行います。

- ベゼルのベゼル位置1へ回転させます。
- リューズをいずれかの方向に回し、月を設定します。
現在の月になるまで日付と月を進めます。月はダイアル外周にある12個の小窓の色が変わることで示されます。1月は1時の位置、2月は2時の位置と続き、12月は12時の位置で表示されます。
- リューズをいずれかの方向に回し、正しい日付になるまで進めます。この年次カレンダーは月間30日と31日の月を自動的に区別します。
年間を通して正しい日付を表示し、修正は年に一度、3月1日にのみ必要です。(2月は28日または29日までしかないので)
- ベゼルの時計回りに回転させ、元の位置に戻します。
- リューズをケースに押し込みながら、最後までねじ込んでください。



ケースに押し込みながら、ねじ込む

*この時計は8月28日に設定されています

防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分に
リューズをねじ込んでください。リューズをケースに
ねじ込むには、1の位置 までリューズを戻してください。
その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに
最後までねじ込んでください。水中でのリューズの
操作は絶対にしないでください。

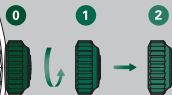
ローカルタイムまたは日付のみの設定

ローカルタイムまたは日付のみを変更する場合は以下の手順で行います。

- リューズをゆるめ、1段階引き出します。
- 設定したい機能により、ステップ2(18ページ)またはステップ3(20ページ)の操作を行います。
- リューズをケースに押し込みながら、最後までねじ込んでください。

さらに

次に時計を操作する際に、ベゼルをI、II、IIIの位置に設定し易くするため、操作後はベゼルを元の位置に戻してください。

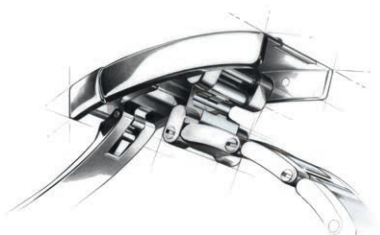


リューズをゆるめ、引き出す

*この時計は8月28日に設定されています

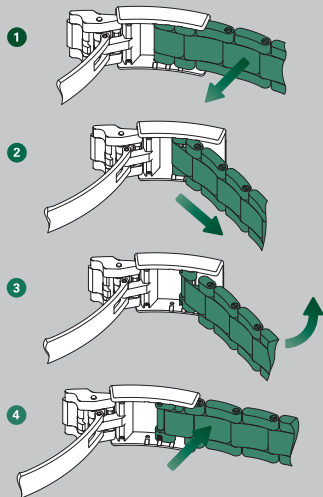
防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。リューズをケースにねじ込むには、1の位置 までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズの操作は絶対にしないでください。

イージーリンク

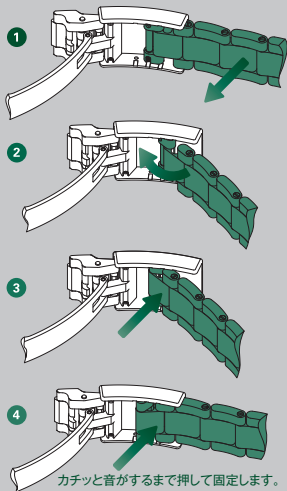


時計を快適に着用していただけるように
ロレックスはイージーリンク(エクステンション
リンク)を開発し、一部のモデルに装備して
います。独自の設計により、リンクを引き出し
たり、折りたたんだりして、工具などを使わず
にブレスレットの長さを約 5 mm 調節する
ことができます。

短い状態から長い状態にする場合

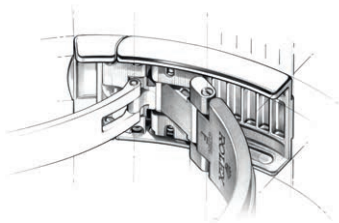


長い状態から短い状態にする場合



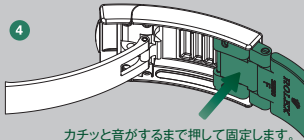
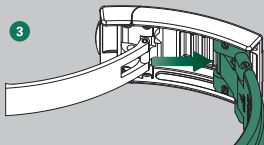
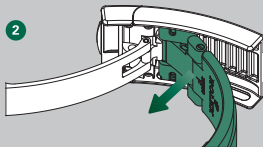
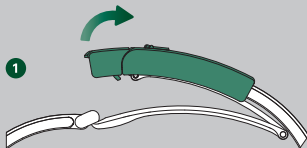
ロレックス グライドロック エクステンションシステム

オイスターフレックス ブレスレットに搭載された
ロレックス グライドロック エクステンションシステム
は、ブレスレットの長さを約2.5mm単位で約15mm
まで延長可能です。



ブレスレットの調節方法

- 1 クラスプを開きます
- 2 ブレスレットを引き出し、刻みから外します
- 3 お好みの長さにブレスレットの位置を調節します
- 4 ブレスレットを元に戻し、ロックします



カチッと音がするまで押して固定します。

お手入れ方法

日々の簡単なお手入れによってご愛用のロレックスをより良い状態に保つことができます。

必要に応じて、柔らかい布(マイクロファイバークロス等)で拭いてください。ケースやブレスレットを柔らかいブラシと石鹸水で洗うことも可能です。また、海でご使用の後は、真水で海水や砂をよく洗い流してください。

お手入れの際は、防水性を確実にするために
リュースが最後までねじ込まれていることを
ご確認の上、行ってください。

アフターサービス

ロレックス ウォッチが最適な性能を保ち、精度と信頼性、防水性能におけるロレックスの厳しい条件を長きにわたり満たすために、ロレックスでは万全のアフターサービス体制を整えています。

時計が正確に時を刻み続けるために、ロレックスが特別に開発した高性能な潤滑油が使用され、摩擦を軽減し、部品の摩耗を防いでいます。正確性と防水性能の維持を確実にするために、ロレックスでは定期的なオーバーホールをお薦めしております。オーバーホールはロレックス正規品販売店またはロレックス サービスセンターで受け付けており、ロレックスのウォッチメーカーが承ります。

オーバーホールでは、ケース、ブレスレット、ムーブメントといった全ての構成部品が分解され、入念に検査されます。

ムーブメントは完全に分解され、すべての部品が綿密に点検されます。ロレックスの品質基準を満たしていない部品は新しい部品に交換されます。ムーブメントは再度組み立てられる際に注油されます。ケースとブレスレットは本来の仕上げに従って、ポリッシュ仕上げまたはサテン仕上げが施され、傷などが取り除かれ、輝きと光沢を取り戻します。

最後の工程で、時計の機能、防水性能、パワーリザーブおよびムーブメントの精度を確認するために一連の検査が行われます。

オーバーホールを終えたロレックスには、サービス保証書が発行されます。

ワールドワイドサービス

ロレックスの正規品販売店とサービスセンターは世界100カ国以上にネットワークを広げ、ロレックスのサービスセンターにはトレーニングを受けた熟練のウォッチメーカーがいます。

ロレックス正規品販売店では時計の機能やアフターサービスに関するご相談も承っております。ブレスレットのサイズ調整やオーバーホールについては、ロレックス正規品販売店やサービスカウンターまたは日本ロレックス サービスセンターにご相談ください。

ロレックスの正規品販売店およびサービスカウンター、サービスセンターについては **rolex.com** でご確認ください。

ROLEX.COM

rolex.com では時計の機能や品質、ロレックスの技術、ブランドの価値観などをご紹介します。

ようこそ、ロレックスの世界へ。

Rolex reserves the right to modify the models illustrated in this publication at any time.

© Rolex SA, 3-5-7, rue François-Dussaud, 1211 Geneva 26, Switzerland
IMR-SKY-JA-21 - 4.2021

[rolex.com](https://www.rolex.com)

